NTTと早稲田大学がサイバーセキュリティ人材育成に向けた寄附講座を設立 ――傑出した人材の発掘・育成を目指す

NTTと早稲田大学は，社会的な脅威となっているサイバー攻撃に対抗できるサイバーセキュリティ人材の育成に向けて，2015年４月から学部学生と大学院生を対象とした「NTT寄附講座：サイバー攻撃対策講座」を開設しました．

現在，インターネットが経済活動や社会生活のインフラストラクチャとなる中，サイバー攻撃は大きな脅威となっており，日々巧妙化するサイバー攻撃に対抗していくためには，最新の攻撃を収集・分析して対策を講じることができるサイバーセキュリティ人材が求められています．

今回，NTTと早稲田大学は，本講座の開設を通じて，サイバー攻撃対策技術を創出する傑出したサイバーセキュリティ人材を発掘・育成し，日本のセキュリティ人材の強化に貢献していきます．

■サイバーセキュリティ人材育成の課題

どのような分野の人材育成においても基礎的な知識に基づく応用的な考察が重要ですが，特にサイバーセキュリティに関しては，刻一刻と変化する攻撃の特性に応じた解析手法や対策手法の検討が必要となるため，企業の現場で得られる最新のサイバー攻撃に対する知見も重要となります．

しかし，大学や企業が個々に実施するサイバーセキュリティ人材育成の施策では，これらを高いレベルで同時に教育・育成するのは極めて困難でした．

■課題解決の方向性

この課題を解決するために，NTTと早稲田大学は，新たにサイバーセキュリティ人材育成に向けた学部学生と大学院生を対象とした講座を開設します．

本講座では，まず学部学生に向け，早稲田大学で実施されている一連のコンピュータサイエンスの基礎的な知識の育成に加えて，日々高度化するサイバー攻撃の現場を踏まえ研究開発を推進しているNTTの観点からサイバー攻撃対策の土台となる教育を行い，高い能力を持つ人材を教育します．

さらに，大学院における実践的な演習を交えた教育を通じて，新たなサイバー攻撃対策手法を創出できる傑出した人材を発掘して育成します．これにより，格段に安心・安全なコンピュータネットワーク環境を実現することを目指します．

NTTにとっては，将来に安心・安全なコンピュータネットワーク環境を実現できる傑出した人材の発掘が期待でき，早稲田大学にとっては，企業技術者の講師を迎える本講座によって教育領域の拡大が期待できます．

■寄附講座の概要

⑴　名称：「NTT寄附講座：サイバー攻撃対策講座」
- 科目１：「サイバー攻撃対策技術の基礎」（学部学生向け）
- 科目２：「高度サイバー攻撃対策技術」（大学院生向け）

⑵　講座概要
- 科目１：サイバー攻撃の根源ともいえるマルウェア感染を中心に，コンピュータネットワーク上で発生している攻撃手法や対策手法を，企業の現場最前線に携わる技術者を迎えて講義します．
- 科目２：マルウェア感染を中心に，コンピュータネットワーク上で発生している攻撃手法や対策手法，ならびに対策手法を創出する研究の立案方法を，実践的な演習を交えて講義します．

⑶　期　間

2015年４月１日～2016年３月31日を今回の開設期間とします．今後，複数年にわたることを想定しています．

⑷　設置機関および講座統括責任者

本講座は，早稲田大学理工学術院に設置し，後藤滋樹教授が講座統括責任者を務めます．

■今後の予定と展望

日本のセキュリティ人材強化のためには，多くの企業や大学と協力して，サイバーセキュリティ人材を育成する講座を拡大していく必要があります．日本におけるサイバーセキュリティ人材育成の場を活性化し，格段に安心・安全

なコンピュータネットワーク環境を実現するために，本講座のような取り組みに賛同していただける企業や大学の輪の拡大を図ります．

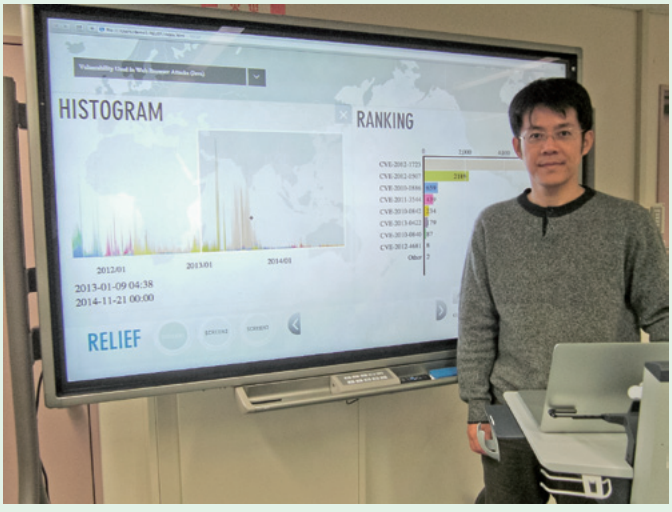
◆問い合わせ先
NTTサービスイノベーション総合研究所
企画部広報担当
TEL　046-859-2032
E-mail　randd@lab.ntt.co.jp
URL　http://www.ntt.co.jp/news2014/1411/141104a.html

サイバーセキュリティの研究開発における新たなステージに向けて

研究者紹介

八木　毅　博士（情報科学）

NTTセキュアプラットフォーム研究所
ネットワークセキュリティプロジェクト
主任研究員



最近，サイバー攻撃が日本の安心・安全を脅かしており，世間の注目度が高まってきました．一方で，情報処理推進機構「情報セキュリティ人材の育成に関する基礎調査」では，国内のセキュリティ技術者は質的に16万人，量的に8万人不足していると報告されています．このため，サイバー攻撃に対応できるセキュリティ人材の育成が急務であるといえます．

私が所属するNTTセキュアプラットフォーム研究所のマルウェア対策研究グループは，針生剛男氏を筆頭に，NTTでマルウェア対策の研究を立ち上げた岩村誠氏や国内の本研究分野を牽引している秋山満昭氏などの10数人の研究者で構成されており，さまざまな技術を創出して現場に導入してきました．世界トップの技術創出に向けて，我々のグループでは，チーム強化の一環として，大学と連携し，共同研究やインターンシップを通じたセキュリティ人材の発掘や育成を実施してきました．しかし，従来の施策では，企業の持つ知見を大学の教育に活用いただく十分な時間が確保できないという課題がありました．そこで，今回，早稲田大学の後藤滋樹教授と森達哉准教授のご協力の下，大学カリキュラムとして大学学部学生から大学院生までの複数ステージにおいて，一貫し，かつ，中長期的に企業と大学が連携して人材育成を実施する国内初となる寄附講座を設立しました．

今後は，本施策を成功させるとともに，世界トップの技術を継続的に創出して現場に貢献できるよう，我々自身もレベルアップを図っていきたいと考えています．